

さざなみ



社会福祉法人親和会
さざなみ学園
Tel (0853) 43-2252
Fax (0853) 43-2256
e-mail:sazanami@rhythm.ocn.ne.jp

新年、あけましておめでとうございます。

本年も、どうぞ宜しくお願い致します。



総合避難訓練



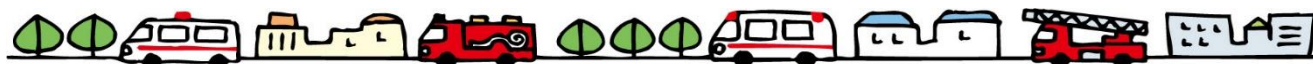
学園では毎月、避難訓練を行っています。火災、地震などの災害が発生した際にどのような行動をしなければいけないのか、児童やスタッフ全員で訓練を行っています。そして、年に1回行っている総合避難訓練も、コロナウイルス感染症に気を付けた上で、安全面に配慮をしながら実施することができました。総合避難訓練とは、通常の避難訓練とは違い、消防署の方や地域の防災協力員の方も参加して下さり、避難訓練の様子を見て頂いたり、実際に一緒に避難誘導をして頂いたりする訓練の事です。

訓練では、初期消火や避難誘導はもちろん、全体放送やスタッフ間での声掛け等、災害が起こった時の動きをしっかりと訓練する事ができました。児童たちも集中して避難することができ、災害が起こった際の対応を1人1人が身に付ける事ができたと思います。

また、訓練用の消火器を使っての消火訓練も行いました。実際に火事が起こった時の消火器の使い方を学び、また、消火をする時は“火”そのものを狙うのではなく、火元を狙うようにする事や、消火器の届く範囲や注意事項など、火事が起こった時に知っておかなければいけない事を学ぶことができました！

災害はいつ起こるか分からないですが、訓練を通して有事の際の動きを学ぶことができます。災害が起こった時に、怪我無く落ち着いて行動できるよう、今後も児童・職員が一丸となり、意識して訓練に取り組んでいこうと思います。

支援スタッフ 成相 学



支援課 燻製パーティー



11月に燻製パーティーをしました。なんと燻製機は児童の手作りです!!ダンボールに焼肉網を取り付けただけのものが燻製機になります。普段から工作で色々な作品を作っている子どもたちなので、燻製機作りもお手の物。あっという間に完成しました。

食材は、スナック菓子やゆで卵、チーズを使いました。網に乗せる作業も、子どもたちがテキパキと取り組んでくれたおかげで順調に進められたかと思いきや…。燻す為の木材に火が付かず、1時間かけて火起こしをしました。『どうやったら火がつくのかな?』とスタッフと子どもたちで試行錯誤しながら取り組みました。みんなで試行錯誤しながら起こした火の上で、2時間程食材を燻すと完成です。できあがった食材を皆で美味しくそうに頬張りました。

支援スタッフ 江角 香苗



支援課 焼き芋パーティー



冬休みが終わり、3学期がスタートしました!冬休み最後の週末には、焼き芋パーティーを行いました。パーティーと言ってもコロナ禍である為、三密を避け少人数の児童とスタッフで行いました。

1グループの男の子を中心に火起こしを行い、アルミホイルに包んだお芋を炭の中に入れました。炭火でじっくり温まったお芋からは、段々と甘い香りがしてきました。寒い日ではありましたが、炭の周りにはじんわりと温かく心もほっこりとする瞬間でした。

焼き芋を食べた子ども達からは「おいし〜」「おかわりある〜?」と嬉しそうな声がたくさん聞こえてきました。美味しくそうに食べている子ども達の姿を見ることができ、私たちスタッフも嬉しい気持ちになりました。

まだまだ、コロナ禍にあり思うように行事ができないことも多いですが、感染対策を取りながら出来る範囲で子ども達と一緒に楽しい行事を行っていきたいと思います。

副主任支援スタッフ 嘉本真希



ほくほく
やきいも
おいしい
ね〜♪



医務室より ～お茶の力で感染予防～

日々の生活でお茶をしっかりと飲んでいますか。冬季は空気が乾燥し、感染症がより流行する季節となります。さざなみ学園の子どもたちは、お茶を朝からしっかり摂って1日の生活をスタートします。

昔からお茶には殺菌作用があるといわれています。お茶を飲むと唾液中のウイルスが低下する可能性があり、多くの方がお茶を飲むことで感染拡大を抑制するという効果が見込めるそうです。予防や治療といった自分のためだけではなく、周囲の人ためにお茶を飲むことが非常に有効で今までよりも、もう少し意識的にお茶を飲めば、コロナ感染症の変異株であっても感染拡大を抑制できる可能性はあるのではないかと考えられています。

お茶の含み飲みは口腔ケアにも効果的とされており、お茶でうがいをする
と、歯周病菌の値が減少します。また、口腔が不潔だと血流に菌がのりやすく、口腔内の健康を保つことが非常に重要です。



毎日の生活に、こまめにお茶を取り入れることで健康な体作りと感染予防をしていきましょう。

保健医療スタッフ 佐藤 麻理



ふれあい教室 クリスマス会



早いもので、今年度も残すところあとわずかとなりました。大人にとってはあっという間に過ぎていく1年ですが、子どもにとっては楽しいことや悔しいこと、頑張らないといけないことなど盛りだくさんな1年だと思えます。そんな1年を、大人も子どもも一緒に楽しく大切に過ごしたいですね。

さて、昨年末の12月はふれあい教室の行事でクリスマス会を行いました。クリスマスといえば、子どもも大人もなんだかワクワクしちゃいますよね♪私たちスタッフもワクワクしながら企画や準備を行いました。そんなクリスマス会、今年度も各曜日ごとで行い、馴染みのあるお友だちと一緒にたくさん楽しみました。サンタ登場の場面では、大人が思っていたような反応ではなく・・・動くサンタに緊張していた子どもたち。それでも、サンタと一緒にダンスをしたり歌を歌ったり、プレゼントをもらったり♪楽しく過ごすことができました。また、今年度は保護者同士のおはなし会も行いました。普段はできない『ゆっくりとお話すること』ができ、スタッフにとってもとても良い時間になりました。

今後も、『大切な1年』を子どもたちや保護者の方と一緒に楽しく過ごしていきたいと思えます。

副主任療育スタッフ 水師 成美



サンタさん
らいねんも
あそびに
きてね!



児童発達支援センターぽこぽこ



「こどもは風の子元気な子」と昔から言われていますが、ぽこぽこでも寒さに負けず、毎日元気いっぱいの子どもたちの歓声で溢れています。

オリンピックイヤーだった昨年は、バスケットにサッカー、テニス、リレーなど、テレビ等で親しんだスポーツにも挑戦！簡単なルールや色んな身体の動かし方を経験してきました。そんな中で、「がんばれ」と友だちに声をかけたり、「ここに並ぶんだよ」と教えてあげたりと、子ども同士のあったかいかかわりも見られました。

12月にはクリスマスに向けて、サンタさんが来るのを楽しみに飾りやバッグ作りをしました。のりやハサミを使ったり、指絵の具を使ってみたり、毛糸をグルグル巻きつけてみたり…様々な用具や材料に触れて制作を楽しみました。そしてクリスマスウィークには念願のサンタさんにご対面！！嬉し恥ずかしの表情を浮かべながらプレゼントを受け取り、大満足の子どもたちでした♪



これから年度末に向けて就学や進級を控え、楽しい気持ち反面、ドキドキそわそわすることもあるかと思えます。子どもたちの気持ちに寄り添いながら、今後も楽しい活動を通して成長していけるように支援していきたいと思えます。

療育スタッフ 田原 あずさ



スタッフ紹介



厨房スタッフ
青木 幸子

昨年の8月より厨房スタッフとして働かせて頂き半年が経ちますが、未だに失敗ばかりでご迷惑をおかけしています。

初めの頃はコロナ対策の為利用者の方とお会いすることが少なかったのですが、最近は食堂で食事をされる子どもたちもおられ、「いただきます」「ごちそうさまでした」「おいしかったです」と大きな声で言って頂くのを聞くととても嬉しく思います。

今後もしっかりと頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

寄贈のお知らせ

- ・県互助会よりDVDや本を頂きました。
- ・中国電力保安協会様よりティッシュを頂きました。
- ・保護者の方より、果物や絵本を頂きました。

たくさん使わせて頂きます！

ありがとうございました(^_)



編集後記



2021年も終わり、新しい年になりました。
2022年は寅年！昨年よりも、もっと素敵な笑ガオーがたくさん1年にしたいと思えます！



広報委員

田原・江角・清水・水師

※掲載しました氏名・写真につきましては、本人・家族に承諾を得ています。